当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	無期限(2012年4月10日設定)
運用方針	オーストラリア債券マザーファンド受益証券への投資を通じて豪ドル建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替へッジを行いません。
主要運用対象	ベ ビ ー オーストラリア債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 マ ザ ー 豪ドル建ての債券を主要投資対
	ファンド衆とします。
主な組入制限	ベ ビ ー 外貨建資産への実質投資割合に ファンド 制限を設けません。
エな祖八削収	マザー 外貨建資産への投資割合に制限ファンド を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書 (全体版)

Navio オーストラリア債券ファンド



第42期 (決算日: 2015年10月19日) 第43期 (決算日: 2015年11月18日) 第44期 (決算日: 2015年12月18日) 第45期 (決算日: 2016年1月18日) 第46期 (決算日: 2016年2月18日) 第47期 (決算日: 2016年3月18日)



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、お手持ちの「Navio オーストラリア債 券ファンド」は、去る3月18日に第47期の決算を行い ましたので、法令に基づいて第42期~第47期の運用 状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い 申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12番 1号 URL:http://www.am.mufg.jp/

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目 次

Navio オーストラリア債券ファンドのご報告	
◇最近30期の運用実績 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
◇運用経過 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3
◇今後の運用方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
◇1万口当たりの費用明細 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
◇売買及び取引の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
◇利害関係人との取引状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
◇組入資産の明細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
◇投資信託財産の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
◇損益の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
◇分配金のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
◇お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
マザーファンドのご報告	
マザーファントのこ報古	
◇オーストラリア債券マザーファンド····································	13

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

〇最近30期の運用実績

									/ 4 #	LLA W					1	
			#	進		/TT		dest	(参 考 シ テ ィ †	指数)	<u>.</u>					
決	算	期	基	华		価		額	シ テ ィ † インデックス	世 界 国 仮 <u>オーストラリフ</u>	債	券	債	券比率	純	資 産
仄	异	刋		税	込。	4 !	相	中		<u>オーハドノッカ</u> 甘田	一組入比	率	先 物	比 率	総	額
			(分配落)	分		金月	^勢 騰落		(円ベース)	7.71	[]					
			円	7,5		<u> </u>	NA 1.D	%		71/49 1°E C	6	%		%		百万円
18期((2013年10	月18日)	11, 238			.5		2. 2	589. 31	1.		. 0		_		230
	2013年11		11, 164			5		10.5	587. 89	$\triangle 0$.		. 5		_		228
20期(2013年12	月18日)	10, 936]	5		1.9	574. 70	$\triangle 2.$	2 97	. 2		_		226
21期(2014年1	月20日)	10, 934			.5		0.1	581.40	1.		6.6		_		231
22期(2014年2	月18日)	11,071		1	5		1.4	582. 73	0.	2 96	5. 7		_		238
23期((2014年3)	月18日)	11, 123]	5		0.6	589. 83	1.	2 96	5.0		_		240
	(2014年4)		11, 547			.5		3.9	613. 74	4.		5. 2		_		249
,,,,	(2014年5)		11,611			.5		0.7	618. 90	0.		5. 9		_		251
,,,,	(2014年6)		11, 687			.5		0.8	624. 76	0.		5. 2		_		256
	(2014年7)		11, 785	_		.5		1.0	633. 86	1.		5. 2		_		254
	(2014年8)		11, 893	_		.5		1.0	635. 62	0.		. 0		_		259
//-	(2014年9)		11, 963	_		.5		0.7	643. 16	1.		. 3		_		263
//4	(2014年10)	v = - , - ,	11,836			.5		√0.9	631. 87	$\triangle 1$.		5. 1				271
//-	2014年11		12, 791			.5		8.2	687. 55	8.		. 4				281
//*	(2014年12)		12, 528			.5		1.9	668. 31	$\triangle 2.$		5. 5				274
//4		月19日)	12, 755			.5		1.9	683. 59	2.		. 3		_		283
//4		月18日)	12, 328	_		.5		\3. 2	662. 06	△3.		3. 4		_		276
//*	(2015年3)		12, 266			.5		<u>\0.4</u>	661. 23	$\triangle 0$.		. 2		_	<u> </u>	275
	(2015年4)		12, 432			.5		1.5	667. 65	1.		. 5			-	280
	(2015年5)		12, 383			.5		<u>\ 0.3</u>	675. 85	1.		0.0			-	279
	(2015年6)		12, 289	_		.5		<u> </u>	669. 47	$\triangle 0$.		. 1			-	281
	(2015年7)		11, 862	_		.5		3.4	647. 63	△3.		5. 1			<u> </u>	271
	(2015年8)		11, 934	_		.5		0.7	654. 18	1.		6.0			-	272
	(2015年9)		11, 148			.5		<u> </u>	614. 31	△6.		6.6			 	259
//4	(2015年10)	4 1.7	11, 373			.5		2.2	625. 95	1.		5. 8			1	263
//-	(2015年11)		11, 324			.5		20.3	625. 27	$\triangle 0$.		5. 8			-	262
	(2015年12)		11, 308			.5		<u> </u>	624. 19	$\triangle 0$.		. 9			1	262
		月18日)	10, 560			.5		<u> 6. 5</u>	583. 02	△6.		9			1	245
	(2016年2)		10, 830			.5		2.7	601. 23	3.		. 8			1	252
47期((2016年3)	月18日)	11, 229			.5		3.8	621.82	3.	4 97	. 5				261

- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) シティ世界国債インデックス オーストラリア (円ベース) はシティ世界国債インデックス (円ベース) のサブインデックスです。 シティ世界国債インデックス (円ベース) は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合 収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業目の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率 売建比率。

〇当作成期中の基準価額と市況等の推移

決	算	期	年	月	日	基	準	価騰	額 落 率	シディ	スス	ナーストラリア	債 券 組入比率	债 券 先物比率
				(期 首	á)		円		%			%	%	%
			201	15年9月	18日		11, 148		_	614.	31	_	96. 6	_
第4	12期			9月末	Ħ		11,065		△0.7	607.	12	△1.2	96. 5	_
				(期 末	₹)									
			201	15年10月	19日		11, 388		2.2	625.	95	1.9	96. 8	_
			201	(期 首 15年10月	- /		11, 373		_	625.	95	_	96.8	_
第4	13期			10月末	E		11, 327		△0. 4	620.	_	△0.8	96. 7	_
,,,				(期 末										
			201	15年11月	18日		11, 339		△0.3	625.	27	△0.1	96.8	_
				(期 首	á)									
			201	15年11月	∄18日		11, 324		_	625.	27	_	96.8	_
第4	4期			11月末	₹		11, 433		1.0	631.	10	0.9	96. 6	_
				(期 末	₹)									
			201	15年12月	18日		11, 323		△0.0	624.	19	△0.2	95. 9	_
			201	(期 首 15年12月			11, 308		_	624.	19	_	95. 9	_
第4	15期		201	12月末	•		11,519		1. 9	634.	_	1.7	97. 3	_
///	10791			(期 オ			11,010		1.0	001.	01	1.1	01.0	
			201	16年1月			10,575		△6. 5	583.	02	△6. 6	96. 9	_
				(期 首	前)									
			201	16年1月	18日		10,560		_	583.	02	_	96. 9	_
第4	16期			1月末	E		11, 253		6.6	610.	57	4. 7	96.8	_
			201	(期 末 16年2月			10, 845		2.7	601.	23	3. 1	96.8	_
				(期 首	á)									
			201	16年2月	18日		10,830		-	601.	23	_	96.8	_
第4	17期			2月末	E		10,832		0.0	602.	41	0.2	96. 7	_
			201	(期 末 16年3月			11, 244		3.8	621.	82	3.4	97. 5	_

⁽注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

⁽注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

⁽注) 「債券先物比率」は買建比率 - 売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第42期~第47期:2015/9/19~2016/3/18)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.5% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。



第42期首 : 11,148円 第47期末 : 11,229円 (既払分配金 90円) 騰落率 : 1.5% (分配金再投資ベース)

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収益に加え、豪州金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因と なりました。
下落要因	豪ドルが対円で下落(円高)したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

債券市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



(第42期~第47期:2015/9/19~2016/3/18)

◎債券市況

・2015年12月にかけて米国の年内利上げ観 測が高まり、米国金利が上昇した影響で 豪州金利は上昇しましたが、中国景気の 先行き懸念の高まりや商品市況の下落を 受けた期待インフレの低下などから、作 成期末にかけては低下基調となりまし た。

◎為替市況

・豪ドルは、RBA(豪州連邦準備銀行)による早期利下げ観測の後退などから上昇する局面もありましたが、豪州の主要輸出相手国である中国景気の先行きに対する懸念や、世界的に株価が下落する中で逃避通貨として円が選好されたため、豪ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<Navio オーストラリア債券ファンド>

・当ファンドはオーストラリア債券マザーファンド受益証券への投資を通じて豪ドル建ての債券を高位に組み入れた運用を行いました。

<オーストラリア債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ2.1%の上昇となりました。

- ・豪ドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期 を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性などを勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・ファンド全体のデュレーション(平均回収期間や金利感応度)は豪州の設備投資の先行きに 不透明感が強いことや中国景気の下振れ懸念が残ることから豪州金利の上昇余地は乏しいと 判断し、参考指数比長めを維持しました。
- ・前記の運用の結果、豪ドルが対円で下落したことがマイナスに影響したものの、債券の利子 収益を獲得したことに加え、豪州金利が低下したことなどが基準価額にプラスに寄与し、基 準価額は上昇しました。

(ご参考)

利回り・デュレーション

作成期首(2015年9月18日)

最終利回り	2. 6%
直接利回り	4. 1%
デュレーション	6. 2年

- ・数値は債券現物部分で計算しております (先物は考慮しておりません)。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の 複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

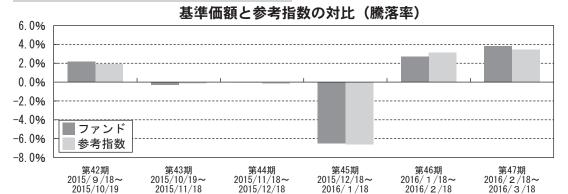
作成期末(2016年3月18日)

	最終利回り	2. 4%
•	直接利回り	3.8%
	デュレーション	7.1年

- ・数値は債券現物部分で計算しております(先物は考慮しておりません)。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の 複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

(第42期~第47期:2015/9/19~2016/3/18)



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。
 - ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド(ベビーファンド)の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
 - ・参考指数はシティ世界国債インデックス オーストラリア (円ベース) です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託 財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位:円、1万口当たり、税込み)

	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
項目	2015年9月19日~ 2015年10月19日	2015年10月20日~ 2015年11月18日	2015年11月19日~ 2015年12月18日	2015年12月19日~ 2016年1月18日	2016年1月19日~ 2016年2月18日	2016年2月19日~ 2016年3月18日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	0. 132%	0. 132%	0. 132%	0. 142%	0. 138%	0. 133%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	_	_	_	_	_	_
翌期繰越分配対象額	3, 191	3, 203	3, 214	3, 223	3, 242	3, 260

- (注)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<Navio オーストラリア債券ファンド>

- ◎今後の運用方針
- ・オーストラリア債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<オーストラリア債券マザーファンド>

- ◎運用環境の見通し
- ・豪州金利は低下余地を探る展開を想定します。個人消費や住宅部門は景気の下支え要因と見られるものの、設備投資の先行きに不透明感が強いことや国内のインフレ動向が低位で落ち着いていることなどから、RBAは現行の緩和的な金融政策を維持するものと考えます。また、グローバルな成長見通しの低下から期待インフレは引き続き抑制されるものと思われます。
- ・為替については、豪州ではRBAが当面緩和的な金融政策を維持すると考えられますが、日銀は「物価安定の目標」の実現に向けて、新たな次元での金融緩和姿勢をもって臨むものと思われるため、円相場には緩やかな下落期待が維持されそうです。そのため、豪ドルは対円で概ね横ばいでの推移を想定します。

◎今後の運用方針

(組入比率)

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。 (種別構成)
- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

(デュレーション)

・豪州の今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

〇1万口当たりの費用明細

(2015年9月19日~2016年3月18日)

	項				П		第	第42期~	~第47	期	項 目 の 概 要
	垻				目		金	額	比	率	- 現 日 の
							円		%		
(a)	信	į	託 報 酬		酬		66	0.	591	(a)信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)	
	(投	信	会	社)		(32)	(0.	285)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書 等の作成等の対価
	(販	売	会	社)		(32)	(0.	285)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等 の対価
	(受	託	会	社)		(2)	(0.	021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)	そ	Ø	H	<u>h</u>	費	用		4	0.	032	(b)その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
	(保	管	費	用)		(3)	(0.	030)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
	(監	査	費	用)		(0)	(0.	002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
	合				計			70	0.	623	
	作成期中の平均基準価額は、11,238円です。										

- (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2015年9月19日~2016年3月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

Π				第42期~第47期								
	銘	柄		設	定			解	約			
			П	数	金	額	П	数	金	額		
				千口		千円		千口		千円		
	オーストラリア債券マザー	-ファンド		1,943		2, 388		4,627		5,720		

〇利害関係人との取引状況等

(2015年9月19日~2016年3月18日)

利害関係人との取引状況

<Navio オーストラリア債券ファンド>

該当事項はございません。

<オーストラリア債券マザーファンド>

				第42期~	~第47期		
区	分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	<u>B</u> A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	<u>D</u> C
為替直物取引		百万円	百万円	% -	百万円 3	百万円 2	% 66. 7

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

〇自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
200	_	_	200	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年3月18日現在)

親投資信託残高

<i>A4</i> 7	挺	第41	期末	第47期末				
銘	柄	П	数	П	数	評	価	額
			千口		千口			千円
オーストラリア債券マザ	ーファンド		212, 012		209, 328			260, 635

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

〇投資信託財産の構成

(2016年3月18日現在)

百				第47	期末	
項	目	評	価	額	比	率
				千円		%
オーストラリア債券マザーファ	アンド			260, 635		99. 5
コール・ローン等、その他				1, 228		0.5
投資信託財産総額				261, 863		100.0

- (注) オーストラリア債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(259,837千円)の投資信託財産総額(260,993千円)に 対する比率は99.6%です。
- (注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

	1180/11920/07		
1オー	ストラリアドル=85.01円		

〇資産、負債、元本及び基準価額の状況

		第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
	項目	2015年10月19日現在	2015年11月18日現在	2015年12月18日現在	2016年1月18日現在	2016年2月18日現在	2016年3月18日現在
		円	円	円	円	円	円
(A)	資産	264, 342, 148	262, 740, 380	262, 669, 306	246, 403, 636	252, 806, 187	261, 863, 899
	コール・ローン等	879, 522	911, 177	892, 898	904, 705	831, 493	875, 076
	オーストラリア債券マザーファンド(評価額)	263, 101, 837	261, 480, 281	261, 403, 432	245, 171, 586	251, 580, 905	260, 635, 364
	未収入金	360, 788	348, 921	372, 975	327, 344	393, 789	353, 459
	未収利息	1	1	1	1	_	_
(B)	負債	611, 260	628, 366	607, 735	625, 245	606, 372	590, 453
	未払収益分配金	347, 827	347, 213	347, 634	349, 109	349, 309	349, 018
	未払解約金	6	24, 142	6	13, 694	_	_
	未払信託報酬	262, 436	256, 043	259, 117	261, 451	256, 097	240, 525
	その他未払費用	991	968	978	991	966	910
(C)	純資産総額(A-B)	263, 730, 888	262, 112, 014	262, 061, 571	245, 778, 391	252, 199, 815	261, 273, 446
	元本	231, 884, 895	231, 475, 781	231, 756, 306	232, 739, 422	232, 873, 236	232, 679, 251
	次期繰越損益金	31, 845, 993	30, 636, 233	30, 305, 265	13, 038, 969	19, 326, 579	28, 594, 195
(D)	受益権総口数	231, 884, 895□	231, 475, 781 🗆	231, 756, 306 □	232, 739, 422□	232, 873, 236□	232, 679, 251 □
	1万口当たり基準価額(C/D)	11, 373円	11, 324円	11, 308円	10, 560円	10, 830円	11, 229円

○損益の状況

		第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	項目	2015年9月19日~	2015年10月20日~	2015年11月19日~	2015年12月19日~	2016年1月19日~	2016年2月19日~
		2015年10月19日	2015年11月18日	2015年12月18日	2016年1月18日	2016年2月18日	2016年3月18日
		円	円	円	円	円	円
(A)	配当等収益	35	33	33	31	29	1
	受取利息	35	33	33	31	29	1
(B)	有価証券売買損益	5, 839, 024	△ 549, 897	219, 987	△16, 756, 403	6, 880, 787	9, 872, 466
	売買益	5, 892, 428	2, 968	258, 268	1, 067	6, 889, 544	9, 919, 685
	売買損	△ 53, 404	△ 552, 865	△ 38, 281	△16, 757, 470	△ 8,757	△ 47, 219
(C)	信託報酬等	△ 263, 427	△ 257, 011	△ 260, 095	△ 262, 442	△ 257, 063	△ 241, 435
(D)	当期損益金(A+B+C)	5, 575, 632	△ 806, 875	△ 40, 075	△17, 018, 814	6, 623, 753	9, 631, 032
(E)	前期繰越損益金	16, 368, 145	21, 533, 272	20, 315, 492	19, 926, 257	2, 556, 807	8, 816, 098
(F)	追加信託差損益金	10, 250, 043	10, 257, 049	10, 377, 482	10, 480, 635	10, 495, 328	10, 496, 083
	(配当等相当額)	(16, 758, 283)	(16, 794, 192)	(17, 063, 761)	(17, 386, 176)	(17, 465, 750)	(17, 502, 851)
	(売買損益相当額)	(△ 6, 508, 240)	(△ 6, 537, 143)	$(\triangle 6, 686, 279)$	(△ 6, 905, 541)	$(\triangle 6, 970, 422)$	(△ 7,006,768)
(G)	計(D+E+F)	32, 193, 820	30, 983, 446	30, 652, 899	13, 388, 078	19, 675, 888	28, 943, 213
(H)	収益分配金	△ 347, 827	△ 347, 213	△ 347, 634	△ 349, 109	△ 349, 309	△ 349, 018
	次期繰越損益金(G+H)	31, 845, 993	30, 636, 233	30, 305, 265	13, 038, 969	19, 326, 579	28, 594, 195
	追加信託差損益金	10, 250, 043	10, 257, 049	10, 377, 482	10, 480, 635	10, 495, 328	10, 496, 083
	(配当等相当額)	(16, 758, 599)	(16, 794, 653)	(17, 065, 773)	(17, 388, 194)	(17, 466, 157)	(17, 503, 198)
	(売買損益相当額)	(△ 6, 508, 556)	(△ 6,537,604)	(△ 6,688,291)	(△ 6,907,559)	(△ 6,970,829)	(△ 7,007,115)
	分配準備積立金	57, 243, 249	57, 350, 265	57, 424, 432	57, 625, 023	58, 048, 950	58, 365, 603
	繰越損益金	△35, 647, 299	△36, 971, 081	△37, 496, 649	△55, 066, 689	△49, 217, 699	△40, 267, 491

- (注) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 232,391,307円 作成期中追加設定元本額 2,937,756円 作成期中一部解約元本額 2,649,812円 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.1229円です。

②分配金の計算過程

項目	2015年9月19日~ 2015年10月19日					2016年2月19日~ 2016年3月18日
費用控除後の配当等収益額	855, 083円	620, 367円	601,039円	554, 094円	807,663円	765, 275円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円	-円	-円	-円	-円	-円
収益調整金額	16, 758, 599円	16, 794, 653円	17, 065, 773円	17, 388, 194円	17, 466, 157円	17, 503, 198円
分配準備積立金額	56, 735, 993円	57,077,111円	57, 171, 027円	57, 420, 038円	57, 590, 596円	57, 949, 346円
当ファンドの分配対象収益額	74, 349, 675円	74, 492, 131円	74, 837, 839円	75, 362, 326円	75, 864, 416円	76, 217, 819円
1万口当たり収益分配対象額	3,206円	3,218円	3,229円	3,238円	3,257円	3,275円
1万口当たり分配金額	15円	15円	15円	15円	15円	15円
収益分配金金額	347,827円	347, 213円	347, 634円	349, 109円	349, 309円	349,018円

〇分配金のお知らせ

	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
1万口当たり分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

- ◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。 ◆課税上の取り扱い
- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、 下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

- ※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。
- ※少額投資非課税制度「愛称:NISA (ニーサ)」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。
- *三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (http://www.am.mufg.jp/) をご覧ください。

「お知らせ」

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

オーストラリア債券マザーファンド

《第4期》決算日2016年3月18日

[計算期間: 2015年3月19日~2016年3月18日]

「オーストラリア債券マザーファンド」は、3月18日に第4期の決算を行いました。 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

 豪ドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。 投資にあたっては、オーストラリアの国債、政府機関債、州政府債、政府保証債ならび に豪ドル建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環 境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物 取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替へッジ を行いません。市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合が あります。
 主 要 運 用 対 象 豪ドル建ての債券を主要投資対象とします。
 主 な 組 入 制 限 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

〇設定以来の運用実績

決	算	期	基	準	価 期 騰	額 中 率	(参考 シティ† インデックス (円ベース)	指数) 世界国債 オーストラリア 期中 騰落率	債 券組入比率	债 券 先物比率	純総	資 産 額
(設定	[日]			円		%		%	%	%		百万円
201	2年4月	10日		10,000		_	499. 16	_	_	_		199
1期(2013年3	月18日)		12,076		20.8	614. 34	23. 1	97. 9	_		239
2期(2014年3	月18日)		11,681		△ 3.3	589. 83	△ 4.0	96. 2	_		239
3期(2015年3	月18日)		13, 233		13.3	661. 23	12. 1	93. 4	_		275
4期(2016年3	月18日)		12, 451		△ 5.9	621. 82	△ 6.0	97.8	_		260

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) シティ世界国債インデックス オーストラリア (円ベース) はシティ世界国債インデックス (円ベース) のサブインデックスです。 シティ世界国債インデックス (円ベース) は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合 収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率 売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価 額騰 落 率	(参 考 シ テ ィ † インデックス: (円ベース)	指数) 世界国債 オーストラリア 騰落率	債 券 組入比率	债 券 先 物 比 率
(期 首)	H.	/	(6,4-7)	鷹 谷 平	%	%
2015年3月18日	13, 233		661. 23		93. 4	
3月末	13, 285	0.4	661. 08	△0.0	96. 7	_
4月末	13, 602	2.8	683. 50	3. 4	95. 6	_
5月末	13, 398	1.2	672. 55	1. 7	96.8	_
6月末	13, 177	△0.4	661. 26	0.0	95. 5	_
7月末	12, 823	△3. 1	642. 47	△2.8	96. 3	_
8月末	12, 356	△6. 6	619. 84	△6. 3	95. 7	_
9月末	12, 103	△8. 5	607. 12	△8. 2	96.8	_
10月末	12, 419	△6. 2	620. 88	△6. 1	96. 9	_
11月末	12, 565	△5.0	631. 10	△4. 6	96.8	_
12月末	12, 688	△4.1	634. 51	△4. 0	97.6	_
2016年1月末	12, 424	△6. 1	610. 57	△7. 7	97. 0	_
2月末	11, 987	△9. 4	602. 41	△8. 9	97. 0	
(期 末) 2016年3月18日	12, 451	△5. 9	621. 82	△6. 0	97.8	_

- (注)騰落率は期首比。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率 売建比率。

〇運用経過

- ●当期中の基準価額等の推移について
- ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.9%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

・米国の利上げ観測の高まりや豪州における利下 げ打ち止め観測から豪州金利は2015年6月中旬 にかけて上昇(債券価格は下落)しました。そ の後、8月下旬にかけて中国景気の先行きに対 する懸念や原油価格などの商品市況の下落を受 けて豪州金利は低下しました。米国の年内利上 げ観測が高まり、米国金利が上昇した影響で12 月にかけて豪州金利は上昇しましたが、中国景 気の先行き懸念の高まりや商品市況の下落を受 けた期待インフレの低下などから、期末にかけ ては低下基調となりました。

◎為替市況

・豪ドルは、RBA(豪州連邦準備銀行)による 利下げ打ち止め観測から上昇(円安)する局面 もありましたが、豪州の主要輸出相手国である 中国景気の先行きに対する懸念や、世界的に株 価が下落する中で逃避通貨として円が選好され たため、豪ドルは対円で下落する展開となりま した。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・豪ドル建ての債券に投資を行い、主として利子 収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて、 債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性などを勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・ファンド全体のデュレーション(平均回収期間や金利感応度)は参考指数比長めを維持していましたが、ギリシャの金融支援問題などを受けて豪州金利が低下したことから2015年7月上旬に参考指数比中立に変更しました。その後、豪州の設備投資の先行きに不透明感が強いことや中国景気の下振れ懸念が残ることから豪州金利の上昇余地は乏しいと判断し、9月上旬に参考指数比長めに変更し、期末まで長めを維持しました。
- ・前記の運用の結果、債券の利子収益を獲得したことは基準価額にプラスに寄与しましたが、豪ドルが対円で下落したことや豪州金利が上昇したことがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

〇今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・豪州金利は低下余地を探る展開を想定します。 個人消費や住宅部門は景気の下支え要因と見られるものの、設備投資の先行きに不透明感が強いことや国内のインフレ動向が低位で落ち着いていることなどから、RBAは現行の緩和的な金融政策を維持するものと考えます。また、グローバルな成長見通しの低下から期待インフレは引き続き抑制されるものと思われます。
- ・為替については、豪州ではRBAが当面緩和的な金融政策を維持すると考えられますが、日銀は「物価安定の目標」の実現に向けて、新たな次元での金融緩和姿勢をもって臨むものと思われるため、円相場には緩やかな下落期待が維持されそうです。そのため、豪ドルは対円で概ね横ばいでの推移を想定します。

◎今後の運用方針

(組入比率)

・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高 位組み入れを維持する方針です。

(種別構成)

・当面は国債中心の運用とする方針です。

(デュレーション)

・ 豪州の今後の金融政策、グローバルな景気動向 などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

〇1万口当たりの費用明細

(2015年3月19日~2016年3月18日)

T	5		目			当	期			項	П	<i>D</i>	概	т і
Ŋ	₹		Ħ		金	額	比	率		- 供	目	の	邩	要
) 7					円		%						
(a) そ	(a) そ の 他 費 月			用		8	0.00	61	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数					受益権口数
((保管費用))		(7)	(0.0	57)	有価証券等	を海外で保	管する場	合、海外	の保管機	 関に支払われる費用
((そ の 他))		(1)	(0.00	04)	信託事務の	処理等に要	するその	他諸費用		
合	合 計					8	0.00	61						
	期中の平均基準価額は、12,735円です。													

- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2015年3月19日~2016年3月18日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
玉	オーストラリア	国債証券	3, 375	3, 108

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

〇利害関係人との取引状況等

(2015年3月19日~2016年3月18日)

利害関係人との取引状況

		四八烷水			主从始然		
区	分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	<u>B</u> A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	<u>D</u> C
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引		9	7	77.8	7	6	85. 7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。 ○組入資産の明細

(2016年3月18日現在)

外国公社债

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

				当	期	ŧ	₹		
区	分	額面金額	評 位	類	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		領国並領	外貨建金額	邦貨換算金額	租八几半		5年以上	2年以上	2年未満
		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	%	%	%	%	%
オース	トラリア	2,670	2, 998	254, 864	97.8	_	91.4	6.4	_
合	計	2,670	2, 998	254, 864	97.8	_	91.4	6.4	_

- (注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
- (注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
- (注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

					当	期	末	
\$	路	柄	利	率	額面金額	評 信	插 額	償還年月日
			小川	4	領則並領	外貨建金額	邦貨換算金額	恒 医 千 月 日
オーストラリア			%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
	国債証券	2.75 AUST GOVT 240421		2.75	600	613	52, 136	2024/4/21
		3.25 AUST GOVT 290421		3. 25	390	409	34, 830	2029/4/21
		3.75 AUST GOVT 370421		3.75	150	163	13, 900	2037/4/21
		4.25 AUST GOVT 260421		4. 25	200	229	19, 547	2026/4/21
		5.25 AUST GOVT 190315		5. 25	180	197	16, 754	2019/3/15
		5.5 AUST GOVT 230421		5. 5	600	722	61, 434	2023/4/21
		5.75 AUST GOVT 220715		5.75	550	661	56, 259	2022/7/15
合		計					254, 864	

⁽注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年3月18日現在)

122	П		当 期 末			末
項	目	評 価 額	比	率		
				千円		%
公社債				254, 864		97. 7
コール・ローン等、その他				6, 129		2.3
投資信託財産総額				260, 993		100.0

- (注) 期末における外貨建純資産(259,837千円)の投資信託財産総額(260,993千円)に対する比率は99.6%です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは 以下の通りです。

Ø11 1 E 2 4 7 8		
1 オーストラリアドル=85.01円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月18日現在)

回り 日本の状況 項 「項」

(2015年3月19日~2016年3月18日)

	項目	当 期 末
		円
(A)	資産	260, 993, 192
	コール・ローン等	3, 011, 113
	公社債(評価額)	254, 864, 859
	未収利息	2, 706, 545
	前払費用	410, 675
(B)	負債	353, 459
	未払解約金	353, 459
(C)	純資産総額(A-B)	260, 639, 733
	元本	209, 328, 861
	次期繰越損益金	51, 310, 872
(D)	受益権総口数	209, 328, 861 □
	1万口当たり基準価額(C/D)	12, 451円

<注記事項>

①期首元本額	207, 976, 963円
期中追加設定元本額	10,712,855円
期中一部解約元本額	9, 360, 957円
また、1口当たり純資産	額は、期末1.2451円です

	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	10, 243, 301
	受取利息	10, 243, 301
(B)	有価証券売買損益	△26, 430, 732
	売買益	2, 606, 543
	売買損	$\triangle 29,037,275$
(C)	保管費用等	△ 163, 484
(D)	当期損益金(A+B+C)	△16, 350, 915
(E)	前期繰越損益金	67, 238, 775
(F)	追加信託差損益金	2, 952, 929
(G)	解約差損益金	△ 2, 529, 917
(H)	計(D+E+F+G)	51, 310, 872
	次期繰越損益金(H)	51, 310, 872

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
- ②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額) Navio オーストラリア債券ファンド 209,328,861円

[お知らせ]

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。 (2015年7月1日)